

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(754)1111
担当部課名	土木部	道路整備	課	市道
事務事業名	境橋橋りょう架替負担金 (債務負担行為)		事業コード	32310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	円滑な道路交通の確保	13
施策名	第1施策	道路渋滞箇所の解消	年度

2 実施根拠及び関連法令等

道路構造令

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
本橋梁は、JR横浜線淵野辺駅と町田市、更には多摩ニュータウンを結ぶ広域的な連絡網の役割を持つ市道淵野辺境橋(計画道路幅員14.0メートル)の中の橋梁であり、町田市との行政界に流れる境川に架かっている。現橋は、幅員が4.2mで歩道も無く、車両の通行におけるネック箇所となっている。このため、市道の整備計画(施工年度を含む)に整合させた幅員を有する橋梁に架替を行い、歩行者及び自転車の安全確保と車両の円滑な通行を図る。	相模原市から町田市及び町田市から相模原市への歩行者・自転車・車両
(3) 平成13年度事業の内容	対象数
1 橋梁設計 下部工設計 1式 上部工設計 1式 仮設工設計 1式 2 橋梁下部工 土工 1式 橋台工 1式 仮設工 1式	自動車7041台/日等
(4) 総合計画・実施計画における概要	(5) 個別計画の概要
総合計画に位置付けられている、円滑な道路交通の確保のため、交通量の多い橋梁の拡幅整備を図るもの。	計画名 境橋橋梁架替工事
	計画年次 平成13年度～平成15年度
	平成13年度 橋梁下部工 平成14年度 橋梁上部工 平成15年度 取り付け道路、現橋落橋工

4 評価指標

指標名	事業進捗状況
指標式	(当該年度までの負担事業費/総負担事業費)*100
指標設定の意図	総事業費に対する事業進捗率を明確化する。

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 43	b 43	92
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	0	58,142	73,700	66,200
	人員・時間数		0.1人	0.1人	0.1人
	人件費		842	842	842
	その他経費		0	0	0
	合計	0	58,984	74,542	67,042
特定財源			51,100	66,300	59,500

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{43.0}{43.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	平成12年度までに橋を架け替えるための用地取得が完了し、平成13年度においては、当初計画どおり橋梁下部工(兩岸の橋台)を施工する事が出来た。		

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	橋梁の完成年度が平成15年度で、相模原市及び町田市が行う橋への接続道路の工事完成も同年度を予定しており、整合が図られている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	本橋梁は、町田市が工事を発注し相模原市が負担金を支払う協定となっているが、仮に相模原市が工事を発注したとしても相模原市の負担額は同一である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市道に架かる橋の架替え工事であり、道路管理者が行わなければならない事業である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	交通のネック箇所の改善及び、歩道部が設けられることから歩行者及び自転車の安全性の向上が図られる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	町田市を繋ぐ路線の、ネック箇所解消事業であり、上位計画である「躍動し魅力あふれる交流拠点都市」の一翼を担う事業である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 橋梁の諸元は、前後の道路の構造により決められてしまう構造物であるため。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 本事業は、単年度ごとに発注しているが、全体事業を一括で発注すれば、工事経費の低減が図られた。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	行政境に架かる橋の架け替え及び親切については、相互で協定を締結し応分の負担をしている。
今後の進め方		説明	橋の架け替え工事完成年度に合わせて、相模原市及び町田市の両市で橋への道路工事を進めている状況であり、橋の完成と同時に市道部も供用が開始される事になる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--